

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

**\* 東京天文台 100 周年記念誌資料ーその 3-9-7ー (188 cm 光望遠鏡ドーム工事写真)**

アーカイブ新聞第 793 号 (2015 年 4 月 30 日) から「東京天文台 100 周年記念誌作成時の資料ーその 3ー」について、その具体的資料について記事を書いている。今回は、アーカイブ室新聞第 353 号 (2010 年 6 月 21 日)「東京天文台 100 周年記念誌作成時の資料ーその 3ー」の 9 項目の中の 188 cm 望遠鏡関連の、1)大成建設によるドーム下部工事写真 3 枚、2)ドームアーチ取付工事写真 2 枚、3)アーチ構造からドーム壁面組立て工事写真 2 枚、4)ドーム壁面構造組上げ工事写真 5 枚、5)ドーム機械系写真 2 枚、6)完成したドーム写真 7 枚、7)岡山天体物理観測所航空写真：4 枚、8)岡山天体物理観測所完成記念品写真 1 枚の紹介である。

写真 1 は、ドーム下部コンクリート工事が終了時点の写真、写真 2 は、裏面に「水切り石取付、スチールサッシ切バメの説明がある。写真 2 は 2 枚ある。



写真 1



写真 2

写真 3、4 の 2 枚は、ドームのメインアーチ取付工事、写真 5、6 はメインアーチからドーム壁面へと進む様子が写っている。



写真 3 メインアーチ取付



写真 4 メインアーチ工事



写真 5



写真 6

写真 7、8 はドーム外壁組上げ工事写真、写真 9、10、11 はドーム内側壁面組上げ工事写真である。写真 10、11、12 を見るとその構造から、ドーム壁面は 2 重壁になっており、外側から温められた空気が 2 重構造の中を上昇して上部から抜け、ドーム内の気温上昇を防ぐ構造であることがわかる。



写真 7



写真 8

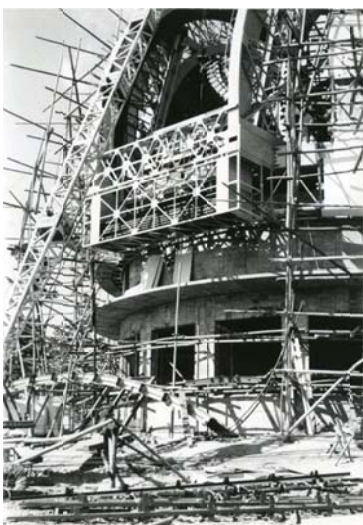


写真 9



写真 10



写真 11

写真 12 はドームスリット開閉機構の駆動部、写真 13 はドーム回転用機構。



写真 12 スリット駆動部



写真 13 ドーム回転機構

写真 14、15、16、17 は完成したドーム写真 7 枚のうちの 4 枚である。



写真 14



写真 15



写真 16



写真 17

写真 18、19、20、21 は岡山天体物理観測所の航空写真であるが、アーカイブ新聞第 793

号（2015年4月30日）の記事の航空写真ネガが発見のものとは別にあつたものである。第793号の航空写真は撮影年月日が分かっており、昭和37年9月24日である。そしてこれらの写真には保税倉庫が写っているが、今回のこれらの写真には保税倉庫が写っており、ドーム建設工事が終わった時点の写真であることがわかる。写真の裏面には昭和35年12月12日の日付がある。



写真 18



写真 19



写真 20



写真 21

写真 22 は岡山天体物理観測所開所記念に配られた記念品の写真である。



写真 22 岡山天体物理観測所開所記念品

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)